

ネイティブバチルス・ポリミクサ・ディスパーゼ

Cat. No. NATE-0193

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ディスパーゼは、フィブロネクチン、コラーゲンIV、そしてやや少ない程度でコラーゲンIを切断するプロテアーゼです。これはいくつかの細菌に存在し、バチルス・ポリミクサの培養濾液から分離することができます。抽出、精製され、研究に使用されることがあります。特に胚性上皮と間葉組織を分離するのに有用です。ディスパーゼIIはロイシン-フェニルアラニン結合の切断に特異的です。ディスパーゼは、培養中の付着した一次細胞を消化するためによく使用されます。この処理はトリプシン消化よりも穏やかであることが判明しました。

用途 ディスパーゼは、フィブロネクチン、コラーゲンIV、そしてやや少ない程度でコラーゲンIを切断するプロテアーゼです。これはいくつかの細菌に存在し、バチルス・ポリミクサの培養濾液から分離することができます。抽出、精製され、研究に使用されることがあります。特に胚性上皮と間葉組織を分離するのに役立ちます。ディスパーゼIIはロイシン-フェニルアラニン結合の切断に特異的です。ディスパーゼは、培養中の付着した一次細胞を消化するためによく使用されます。この処理はトリプシン消化よりも穏やかであることが判明しました (Sinclair et al., 2013)。最近の記事では、ディスパーゼがセリン-フェニルアラニンを消化できることも発見されています。

別名 ディスパーゼ; 42613-33-2; プロテイナーゼ; バチルス・ポリミクサ中性

製品情報

由来 バチルス・ポリミクサ

形態 粉末

CAS登録番号 42613-33-2

活性 ~0.4 ユニット/mg 固体

単位定義 1ユニットは、pH 7.5、37°Cでカゼインを加水分解し、1分あたり1.0μmole (181μg) のチロシンに相当する色を生成します (色はFolin-Ciocalteu試薬による)。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C